

SA 吹田 通信 第18号

2004年11月

発行 SA吹田 事務局 〒565-0821 吹田市山田東4-41-4-506

TEL&FAX 06-6876-1437

SA吹田の今昔(1)

SA吹田会長 丹羽 史朗

ご承知のように、SA吹田は平成14年6月に、休会中だったSA吹田支部を再建し、発足いたしました。休会の前後では大部分の方が、そのまま継続して会員になって下さいましたが、役員は10期の堀さんに無理やり1年だけの約束で副会長に就任していただいたが、他は12・13・14期生で構成しました。書類については、再建準備委員会の初期段階でご協力いただいた高増さん(10期)から、会員名簿他の資料をいただいた以外は、全く引継ぎもありませんでした。したがって、歴代の役員さんの名簿も、例会や役員会などで、どんなことがどんな具合に話し合われていたのか、会としてどんな行事が実施されていたのか、といったことがさっぱり分かりませんでした。まあ、それでもいいか、新しいボランティアグループとして一からやればと気楽に考えていました。

ところが、SA連協で、15周年特集号としてシルバー通信35号を編纂するという話が出てきて、各地でそれぞれの活動紹介を書くことになりました。そこで、SA吹田も全役員が協力して、この際歴史をひもといて見ようということになり、まず歴代の吹田の会長経験者の方々にインタビューを始めました。今、2代目の池田明義さん、6代目の木田隆三さん、7代目の入江道三さんの3人を終えたところですが、諸先輩からうかがった貴重なお話を、何回かに分けてご紹介していきたいと思えます。

SA吹田は、平成元年4月に、1期生全員(26名)が参加して結成され、初代会長は射場義治さん(故人)が務められました。2代目は池田明義さんで、後に連協の会長も2期にわたって務められました。3代目は前田秋さんで、16年4月まで参加されていましたが、体調を崩して退会されました。その後、インタビューをお願いしましたが、ご病気のため実現しませんでした。10月初めに亡くなられたとお聞きしています。4代目は菊地恭子さんで、今も会員ですが、体調を崩されており、インタビューは実現しておりません。5代目は三宅博さんで、今も会員として、地域の福祉委員として、さらに吹田市ボランティア連絡会の会長も最近まで務められ、益々お元気で活躍されています。近々インタビューの予定です。6代目は木田隆三さんで、今も時折SA吹田の行事にお手伝いしていただいております。くるくるプラザの研究員の肩書きもお持ちです。7代目は入江道三さんで、民生委員としてご活躍中ですが、来年は後進に道を譲られるとか。休会せざるを得なかったことで一部に種々の批判がありますが、ご本人なりに当時いろいろとご苦労なされたご様子でした。初代～6代までは、1年毎に会長職を交代されていましたが、7代目から複数年になったとのこと。但し8代目は早く交代したいと願っておりますので、平成17年度に向けて意欲的に立候補していただきたく思っています。

◆◆ 第2回府立千里高校高齢者交流会に参加して ◆◆

奥 正昭(SA14期)

今年も、府立千里高校西田先生から、授業の一環として次の目的、内容で、SA吹田に参

加協力の依頼があり、検討の結果引き受けることにしました。

- (目的) ①昔の知恵と伝統工芸である竹細工を実際に体験制作することにより「環境とくらし」について考える。
②地域のシニア(高齢者)の方々と交流する機会を持ち、お互いを理解する。
③人生の先輩であり、生き生きと生きているシニアの方々の姿や話を伺うことで、自分自身の生き方について考える機会と将来への明るい展望をもたせる。

- (内容) ①シニアの方の「高齢期を生き生きと暮らしている話」を聞く。
②小刀を使い、班ごと竹細工を実施する。(竹箸・ブンブンごま)

2年生 8クラス 生徒320名 SA参加者延べ 56名(内SA17期生3名)

授業時間は、100分、生徒40人を10班に分け、最初約20分間は体験談等話をしました。今回から、体験談の一部に佐藤さん、岩城さんの歌体操、野原さんのマジックを取り入れ好評でした。エコ工作は昨年と同じ、竹箸・ブンブンごまの2種類で、材料の竹は11月5日7名の方の協力を得て、老人センター横の竹林より伐採した。ブンブンごま用の竹はできるだけ薄く半加工して10日に学校に搬入した。今回は、昨年の経験から、伐採後、数日経過すると乾燥して硬くなり工作しにくいので、竹を水につけておくと硬くならないとの方法を教えていただき実行したが、11日に先生から水に漬けている竹が発酵し、黒いカビが発生しているとの連絡を受け八木さんと対応策を考えたが、竹を水から引き上げカビが発生した竹全部廃棄処分し、16日(2名)25日(3名)で新たに伐採、半加工し搬入した。今回の経験から今後竹は何回にも分けて伐採搬入したほうがよいと思う。最終日、西田先生より、好評なので来年も引き続き実施してほしいと言われた。参加者の皆様お疲れさまでした。

◆◆◆ 高校生の感想文から ◆◆◆

- ◆「高齢者のための大学があると知って驚きました。高齢になっても学び、地域の活動に参加しているのは、素晴らしいと思いました。」
- ◆「今日は、生活についてのお話そして竹箸・ブンブンごまを教えてくださいまして本当にありがとうございました。皆さんが地域の活動に加わり、とても元気に暮らしていると聞いて、私も年をとったら皆さんのように、生活したいと思いました。お元気でいてください。」
- ◆「今日は、色々なお話や、竹細工の作り方を教えてくれて、どうもありがとうございました。高齢者の方たちは私が思っていたより、ずっと元気でイキイキとしていました。私も将来そんな風に趣味や特技を身につけて楽しく活発なおばあちゃんになりたいです。」
- ◆「今日は、千里高校に来て楽しい授業を受けさせていただき、本当にありがとうございました。竹に触れることはめったにないので、竹の香りに感動しました。是非今日作った竹箸は家で使わせていただきます。ブンブンごまも姉弟に自慢します。ボランティアの大切さも教えてくれてありがとうございました。また来てください。」
- ◆「工作なんて、小学校以来全くしていなかったのですが、久しぶりにやってみて、身体は成長したけど工作の腕前は上達していませんでした。やはり経験を積むことが上達するコツなのだと思います。皆さんお元気で、ハキハキとしていらっしゃるし、様々な活動にも参加して、生き生きと生活していらっしゃると思いました。これからも頑張って、そうして若々しくいてくださいネ。」

♪♪ リズム体操&ダンスフェスティバルに参加して ♪♪

佐藤 百合子 (SA10期)

歌体操グループは今年は4グループが、11月21日(日)北千里体育館で開催のフェスティバルに参加しました。全部で19グループの参加がありました。まだ学校にも通っていない幼児が出演するグループもあり、わが子に声援を送る保護者も大勢来られて大盛況でした。「みのりの会」「イン吹田いきいき歌体操グループ」「桐の松原」「さくら」が出演グループです。「さくら」は今年新しく誕生し、会員が6名なので、何人かの人たちの協力を得て出演しました。「イン吹田いきいき歌体操グループ」が一番参加者が多く100名を超えるとのことでした。どのグループも自らが決めた課題に懸命に取り組みました。今年もこれまで3回グループで出演し、これで出演予定は終了です。また来年は新しい曲に取り組もうと思っています。

★※ ストローとんぼで歓声があがった大阪府立箕面養護学校 ※★

岩城 延重 (SA13期)

10月28日(木)15:30~16:30まで、SA吹田として大阪府立箕面養護学校課外授業でおもちゃづくりを実施いたしました。生徒の希望で音楽とおもちゃづくりの二クラスに分かれて、おもちゃづくりには9名の生徒が参加してくれました。

授業開始前に、担当するの生徒との組み合わせが決められ、進め方の説明がありました。2階の美術教室に入りますと、既に生徒はそろって待っていました。生徒は各々カードを持っていて、氏名・通称・障害の程度と性格・特徴など記載されていて、コミュニケーションが取りやすいように配慮されていました。

いよいよおもちゃづくりの開始です。丹羽会長の挨拶が始まると同時にストローとんぼを飛ばすと、9名の生徒とPTAの方そして先生の歓声が上がりました。丹羽会長、石井さん、小北さん、岩城の4名はそれぞれ担当の生徒について、小北さんから作り方の説明があった後、予め配布されたストローとんぼの羽部分の切り出しからスタート(はさみの使える人のみ)色付けから、ストロー取り付けと進む。担当の二口先生も一生懸命色付けをされました。生徒はもちろん動かない手も使い一生懸命、おしゃべりに一生懸命な生徒もおり、愉快地楽しく制作いたしておりました。出来上がったところで、早速飛ばす子どももおりました。体育館で飛ばそうということになり、同じフロアにある体育館に行きました。生徒の中には携帯電話を持ってきた子供もおり、早速写真を撮るなどとても盛り上がりました。私の担当したS君は以前に課外授業の音楽で一緒になったこともあり、懐かしく体育館では私の左手とS君の右手とを擦って、ストローとんぼを飛ばしました。授業終了後、帰宅のためお迎えのお母さんと自家用車まで車椅子介助で行きました際、6月に会った時はお母さんと一緒に介添えして助手席に乗せてあげましたが、今回は自分で車椅子より立ち上がり二歩ほど歩き、助手席に自分で乗車されたのには、驚嘆いたしますと共に感動いたしました。聞けば体育館で遊んでいるとき腹筋運動とスクワットを実施している旨話していることを思い出しました。やはりそれなりの努力をしているのだと感動して、大きな拍手を送りたく思いました。やってよかった、おもちゃづくり!!

▲▲▲ 吹田市の「行政サービス」は全国第10位 ▲▲▲

奥谷 英夫 (SA16期)

日本経済新聞社と日経産業消費研究所が実施している「行政サービス調査」で、今年度吹

出演を依頼したところ快く引き受けていただき感謝しています。そして、当初まったく想定していなかった出演料を商店街事務局からいただき、フリーマーケット販売金とあわせて活動資金を得ることが出来ました。最後に、今回のフリーマーケット出展に当たっては「ドリームネット」の新地さんからご親切なアドバイスを頂戴しましたこととお礼申し上げます。

北千里文化祭におもちゃ作りで参加

八木 秀雄 (SA16期)

10月23日(土)・24日(日)の両日、地区公民館の恒例行事である文化祭が好天に恵まれ、公民館前の健康広場で地元の古江台中学校のオープニングセレモニーの吹奏楽団で始まった。SA吹田グループはキッズランドの一角、子ども広場で丹羽会長をはじめ、11名が待機の中、演奏が終わらぬうちに早くも親に手を引かれた幼児がやってきた。紙飛行機の山地さん、風車の増山さん、小北さん、市民塾のバクバク、そして初参加の16期大野さん、中村さん、宮浦さんがフィルムケースで作るクリオネ、竹トンボのどらえもんヘリコプターなどで子どもたちにおもちゃ作りを楽しんでもらった。幼児が多くて子守をかねて参加しているため、机だけでは対応できず、青いシートも広げて色塗りコーナーを担当することにした。人気のピカチュー、アンパンマン、ハム太郎のぬりえを自由に色を使って書き、パックに貼って完成、大変嬉しそうであった。和風小物入れは母親に人気があり、小学生の低学年には飛行機や風車、また若い母親が子どものためだろう両手におもちゃを一杯持って走り回っていた。気がつくと、正午は過ぎており、小休止して午後に備える。午後から16期の菰池さん、中内さん、森山さんが参加して午前の2名は帰宅、作品も引継いだ。午後3時ごろの店じまい直前まで続けた。ついに材料も少なくなり、約9点の作品は各50から100個は作ってもらえたと思う。参加サポートの皆様、ご苦労さんでした。

◆◆SA吹田活動予定表(11月~12月)◆◆

11月8日(月)	SA吹田役員会	南千里公民館	10時~12時
11月11日(木)	日本語を知ろう・学ぼう・お話しよう	やまびこ 北千里公民館	午前10時~12時
11月13日(土)	おもちゃ作り市民塾	北千里公民館	10時~12時
11月15日(月)~26日(金)	計8回	千里高校	竹細工・おもちゃ作り指導
11月28日(日)	ミニ文化交歓会	桃山台小学校・地域交流室	13時~16時
12月3日(金)	懐かしい歌声の集い	南千里市民センター3F大ホール	14時~16時
12月9日(木)	日本語を知ろう・学ぼう・お話しよう	やまびこ 北千里公民館	午前10時~12時
12月11日(土)	おもちゃ作り市民塾	北千里公民館	10時~12時

編集後記 9~10月は各地域での文化祭や行事が多数開催されご多忙だったことと思います。今月も多数の原稿をいただきありがとうございました。シルバー通信15周年記念特集号の発行準備をしています。シルバー通信バックナンバー他SA受講当時の資料をお持ちの方は提供をお願いいたします。